

令和3年度 公益社団法人王寺町シルバー人材センター
事業報告

1. 概要

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によるまん延防止等重点措置が適用されて、社会経済活動、またシルバー人材センター事業にも大きな影響を及ぼしました。

このような悪条件の中であっても、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められており、その役割は非常に重要なものとなっています。シルバー人材センターは、まさに地域の高齢者の活躍を支え、生涯現役社会実現のためにも必要不可欠な存在です。

そのような中、令和3年4月1日からいわゆる改正高齢者雇用安定法が施行され、企業に対し70歳までの継続雇用が努力義務とされました。これにより、今後、シルバー会員の新規加入の対象者は70歳代が中心になるのではないかと予想され、60代の若年会員の激減、会員の高齢化の進展と減少傾向は、シルバー人材センター全体の深刻な問題となっています。

シルバー人材センターの安定的な事業運営を図るためには、会員の入会促進と就業機会の確保・拡大が急務です。そのため、センター自体の認知度・印象度の向上と、センター事業に対する理解を深めていただけるよう、町広報紙への掲載及びホームページの公開、会員募集の幟・マグネットシート掲出やチラシの各戸配布等普及啓発活動に努めてまいりました。

高齢者が身近な地域で安心して働き続けることができる組織・地域づくりを推進するためにも、引き続き多様な就業機会の確保と提供に尽力していきます。

次に講習会においても、会員の就業の拡大・拡充を図るため技能講習会を行い、また、安全衛生委員会による安全パトロールも実施しました。

事業実績では、会員皆様のご理解・ご活躍と一般家庭並びに王寺町をはじめ関係機関のご支援ご指導のもと、入会の促進と就業機会の確保に努力してまいりましたが、契約金額 97,260 千円、前年比 93.7%で、6,480 千円の減となりました。その主な原因は新型コロナウイルス感染症の影響と

会員減少によるものと考えています。一方、派遣事業では契約金額 5,943 千円となり、前年度 6,021 千円に対して 7 万 8 千円、率にして 1.3%の減となりました。今後はより一層の普及啓発活動で新規会員の確保と就業機会の開拓に邁進し、事業の拡大に努めてまいります。